

HD 対応 7インチワイド液晶 2 連モニター

TLM-702HD



取扱説明書

datavideo
JAPAN

目次

<u>サポート窓口</u>	1
<u>内容物</u>	2
<u>概要</u>	2
<u>特長</u>	2
<u>各部の名称と機能</u>	
フロントパネル	3
リアパネル	5
<u>MENU オプション</u>	7
<u>対応フォーマット</u>	10
<u>仕様</u>	11

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

番号	品 名	数量
1	HD 対応 7 インチワイド液晶 2 連ビデオモニター (TLM-702HD)	1
2	AC/DC 変換アダプタ (AC ケーブル付) 12V 2.0A	1
3	1.5mm 六角レンチ	1
4	2.5mm 六角レンチ	1
5	取扱説明書 (本書)	1

概要

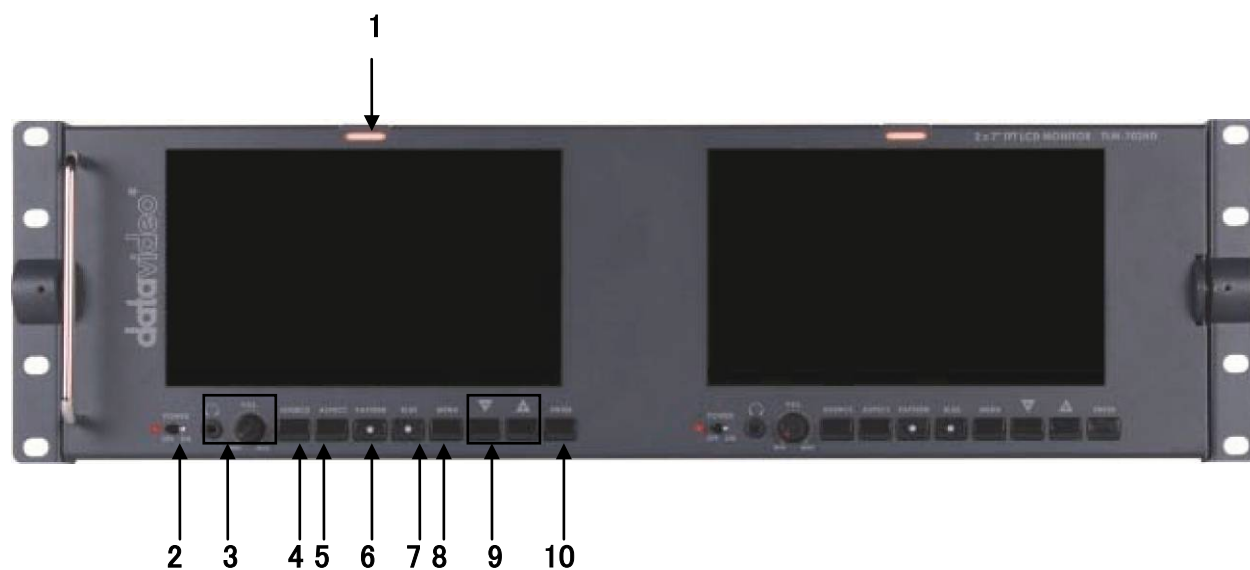
TLM-702HD は、19 インチラックに据え付け可能な 7 インチのデュアル TFT モニターです。TLM-702HD はオールメタル製ですので頑丈で耐久性があります。12V 電源なので野外でもスタジオでも簡単に使用できます。高解像度 TFT 画面はワイドな画角で、NTSC / PAL 自動検知機能が付いています。

特長

- 7 インチ 16:9 高視野角ワイドスクリーン・パネル x 2
- 解像度: 800 x 480 ドット
- HD/SD-SDI、アナログコンポーネント、アナログコンポジット、HDMI 入力が可能
- ブルーオンリー機能
- エンベデッドオーディオインジケータ機能 (SDI、HDMI)
- セーフティエリアインジケータ
- VITC タイムコードに対応
- 2 色 (赤・アンバー) のタリーインジケータ
- ブライツネス、コントラスト、カラー、ティント (NTSC のみ) の調整が可能
- NTSC/PAL 自動切替
- 16:9 / 15:9 / 4:3 切替可能
- OSD (オンスクリーンディスプレイ) によるメニュー設定が可能

各部の名称と機能

■フロントパネル



1. タリーランプ
2. 電源スイッチ
3. ヘッドホンジャック
ヘッドホンボリュームコントロール
4. 入力ソース選択ボタン
5. アスペクト切替ボタン
6. カラーバー表示ボタン
7. ブルーオンリー表示ボタン
8. メニュー表示ボタン
9. 選択ボタン(上下)
10. 決定ボタン



タリーランプ

2 色 (赤・アンバー) のタリーインジケーター



電源スイッチ

電源の ON / OFF を切り替えます。



ヘッドホンジャック

ステレオ ヘッドホン用。ヘッドホンの音量は VOL つまみで調節します。

注 オーディオソースは HDMI または SDI に埋め込まれています。

ヘッドホンボリュームコントロール

ヘッドホンの音量を調節します。



入力ソース選択ボタン

SDI、コンポーネント、コンポジット、HDMI の中から入力ソースを選びます。



アスペクト切替ボタン

アスペクト比を 15:9、16:9、4:3 のいずれかに設定します。



カラーバー表示ボタン

PATTERN ボタンを押すと、画面にカラー・バーが表示されます。

再度 PATTERN ボタンを押すと通常の出力に戻ります。



ブルーオンリー表示ボタン

BLUE ボタンは、青色信号のみにします。

このボタンを押して、入力信号の赤色と緑色の要素を削除します。

入力の青色の要素のみが画面に表示されます。



メニュー表示ボタン

オンスクリーン調整メニューを表示します (詳細は **Menu (メニュー) オプション** を参照)。



選択ボタン (上下)

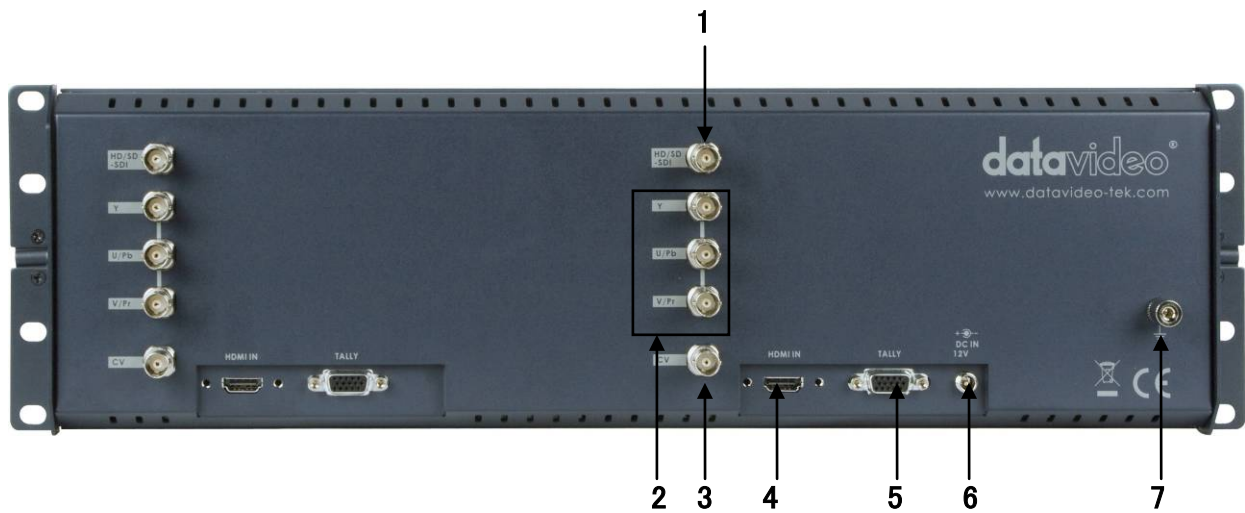
オンスクリーン・メニューでの機能とレベルを設定します。



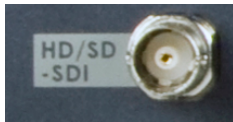
決定ボタン

新しい設定を確定、または、デフォルトに戻します。

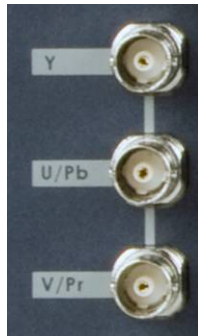
■リアパネル



1. HD/SD-SDI 入力コネクタ
2. コンポーネント入力コネクタ
3. コンポジット入力コネクタ
4. HDMI 入力コネクタ(HDMI1.1 対応)
5. タリー入力コネクタ
6. DC 電源 12V (外側－ 内側＋)
7. アース端子



HD/SD-SDI 入力コネクタ



コンポーネント入力コネクタ



コンポジット入力コネクタ



HDMI 入力コネクタ
HDMI 1.1 対応。



タリー入力コネクタ
2 色 (赤、アンバー) のタリー信号をタリーLED に送信します。
赤色はオンエア、黄色はスタンバイを意味します。



DC 電源入力 12V



アース端子

MENU オプション

1. Picture (画像)

- **MENU** ボタンを一回押して、<Picture (画像)>設定モードにします。
- **ENTER** ボタンを押して、<Picture>設定を確定します。
- **- / +** ボタンを押して、<Brightness (明度)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、<Brightness>設定を確定します。
- **- / +** ボタンを押して、<Brightness>値を 0～100 の間で設定します。
- **MENU** ボタンを押して、<Picture>設定メニューに戻します。
- **SOURCE** ボタンを押して、設定を終了します。

注. 他の設定(Contrast (コントラスト), Saturation (彩度), Tint (濃淡), Color Temp (色温度)) を選ぶには、

***- / +** ボタンを使います。他の値の設定も同じ手順です。*

注. Brightness (明度), Contrast (コントラスト), Saturation (彩度) の三つのモードの値は全て 0～100 です。

Color Temp (色温度) の設定は下記のとおりです。

- **MENU** ボタンを一回押して、<Picture (画像)>設定モードにします。
- **ENTER** ボタンを押して、<Picture>設定を確定します。
- **- / +** ボタンを押して、<Color Temp (色温度)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、<Color Temp>設定を確定します。
- **ENTER** ボタンを押すことにより、<Color Temp> 値を 9300,7500,6500,5400 および USER 設定 RED, GREEN, BLUE 各 0～256 の間で設定します。
- **MENU** ボタンを押して、<Picture>設定メニューに戻します。
- **SOURCE** ボタンを押して、設定を終了します。

2. Audio (オーディオ)

- **MENU** ボタンを二回押して、<Audio (オーディオ)>設定モードにします。
- **ENTER** ボタンを押して、<Audio>設定を確定します。
- **ENTER** ボタンを押して、音量の画面表示の ON/OFF を設定します。
- **SOURCE** ボタンを押して、設定を終了します。

3. Func. (ファンクション)

- **MENU** ボタンを三回押して、<Func. (ファンクション)>設定モードにします。
- **ENTER** ボタンを押して、<Func.> 設定を確定します。
- **- / +** ボタンを押して、<Center Mark (センターマーク)>設定を選びます。

- **ENTER** ボタンを押して、センターマーク表示の ON/OFF を設定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<Safety Zone(セーフティゾーン)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、<Safety Zone>の範囲(80、90、OFF)を設定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、設定を終了します。

*注: 他の設定(4.3 Screen(画面)、Cinema Zone(シネマゾーン))は、**-** / **+** ボタンで選びます。他のステータスの設定も同じ手順です。*

4. Setup(セットアップ)

- **MENU** ボタンを四回押して、<Setup(セットアップ)>設定モードにします。
- **ENTER** ボタンを押して、<Setup>設定を確定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<OSD Timer(オンスクリーンディスプレイタイマー)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、<OSD Timer>設定を確定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、メニュー表示される時間(5~60 秒の値)を選択します。
- **ENTER** ボタンを押して、OSD 表示設定を確定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<OSD Blending(ブレンディング)>設定を選びます。
- **ENTER** を押して、<OSD Blending(透過度合い)>設定を確定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、OSD blending 表示(0~7 の値)を選択します。
- **ENTER** ボタンを押して、OSD blending 表示設定を確定します。
- **-** / **+** を押して、<Time Code(タイムコード)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、Time Code の画面表示の ON/OFF を設定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<TC Position(TC ポジション)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、タイムコード表示位置(画面左上、中央下、右下、右上)を設定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<TC HD Line(HD ライン)>設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、タイムコード用 HD ライン(8~20)を設定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<TC SD Line(SD ライン)> 設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押して、タイムコード用 SD ライン(10~21)を設定します。
- **-** / **+** ボタンを押して、<TC Font Size(文字サイズ)>設定を選びます。

- **ENTER** ボタンを押して、タイムコード・フォントサイズ (Large (大) または Small (小)) を設定します。
- **MENU** ボタンを押して、<Setup> 設定メニューに戻ります。
- **SOURCE** ボタンを押して、設定モードを終了します。

5. Advance (アドバンス)

- **MENU** ボタンを五回押して、<Advance (アドバンス)> 設定モードにします。
- **ENTER** ボタンを押して、<Advance (拡張)> 設定を確定します。
- **- / +** ボタンを押して、<LCD L/R Scan (スキャン)> 設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押すと、LCD 画面が (左右に) リバースします。
- **ENTER** ボタンを再び押すと、LCD 画面が元に戻ります。
- **- / +** ボタンを押して、<LCD U/D Scan (スキャン)> 設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押すと、LCD 画面が (上下に) リバースします。
- **ENTER** ボタンを再び押すと、LCD 画面が元に戻ります。
- **- / +** ボタンを押して、<Reset (リセット)> 設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押すと、モニターの全ての設定は工場出荷時設定に戻ります。
- **- / +** ボタンを押して、<Version (バージョン)> 設定を選びます。
- **ENTER** ボタンを押すと、バージョン情報が表示されます。
- **SOURCE** ボタンを押して、設定モードを終了します。

対応フォーマット

・ HDMI YUV

- 720 x 576i x 50 Hz
- 720 x 480i x 60 Hz
- 1280 x 720p x 50 Hz
- 1280 x 720p x 60 Hz
- 1920 x 1080i x 50 Hz
- 1920 x 1080i x 60 Hz

・ HDMI RGB

- 720 x 576i x 50 Hz
- 720 x 480i x 60 Hz
- 1280 x 720p x 50 Hz
- 1280 x 720p x 60 Hz
- 1920 x 1080i x 50 Hz
- 1920 x 1080i x 60 Hz

・ SDI

- 720 x 576i / 50 Hz
- 720 x 480i / 60 Hz
- 1280 x 720p / 60 Hz
- 1280 x 720p / 50 Hz
- 1920 x 1080i / 50 Hz
- 1920 x 1080i / 60 Hz

・ YUV

- 720 x 576i x 50 Hz
- 720 x 480i x 60 Hz
- 1280 x 720p x 50 Hz
- 1280 x 720p x 60 Hz
- 1920 x 1080i x 50 Hz
- 1920 x 1080i x 60 Hz

・ CV

- 720 x 576i (PAL)
- 720 x 480i (NTSC)

仕様は予告なしに変わることがあります。